KNT－CTパートナーズ会総会特集

会社と連携し需要を共創

12連合会長あいさつ

関西連合会
大阪・関西万博生かす
井上 義一（金波楼）

平素より関西連合会の事業活動に対しまして、ご厚情を賜っております関係各位に対しまして、心より御礼申し上げます。また、元旦に発生した能登半島地震により、現在も事業再建に向け、懸命に奮闘なさっていらっしゃる石川、富山両支部の皆さまにお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興を衷心よりお祈り申し上げます。

関西連合会エリアでのトピックスとしては、やはり「大阪・関西万博」を抜きには語ることができません。前回の全国総会においても、「大阪・関西万博を生かす」として述べさせていただきましたが、いよいよ来年4月13日の開幕まで1年を切り、関西連合会会員一同心を一つにして、全国のみならず世界各国からのお客さまを、おもてなしの心でお迎えする準備に取り組みます。何かと批判的な報道が先行していると感じの皆さまも多いことと思いますが、海外パビリオンや企業パビリオンの建築外観や展示コンセプト発表のニュースも増えてきており、加えて8人の著名なプロデューサーが展開するシグネチャー・パビリオンの魅力や、各種イベントや催事などのスケジュール発表との相乗効果により、「万博に行ってみたい」という雰囲気も必ずや醸成されてくるものと思います。万博の見学だけでなく、せっかくなら大阪・関西に隣接する各エリアへの足を延ばしてみたいとお考えになるお客さまもきっといらっしゃることから、周辺エリアへの相乗効果も大きいことが想定されます。20年ぶりの日本開催となる万博の成功に向け、共に手を携えることができればと思います。

最後になりますが、KNT－CTパートナーズ会会員の皆さまとKNT－CTホールディングス各社の皆さまのご繁栄を祈念するとともに、関西連合会へのますますのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

中国連合会
未来へつなぐ連携・共創
中島 伸之（望湖楼）

KNT－CTパートナーズ会会員の皆さま、本年度もどうぞよろしくお願いいたします。一進一退のあった2023年でありましたが、中国連合会ならびに各部会、各支部活動に多大なご支援をいただき、まずは衷心より御礼申し上げます。

会社の構造改革を受け、中国連合会も一体となって事業活動を行ってまいりました。近畿日本ツーリストの団体の助成、WEB・店頭の個人商品への参画、宿泊在庫のインバウンド転用も効果がありました。クラブツーリズムの地域イベントにおいては、長年続くシリーズものから新規イベントも挑戦。当日の運営サポートには、部会を超えて多数の会員さまのご協力のもと、無事終了できましたこと改めて御礼申し上げます。

2024年度も、会社方針に従い協業しながら、この中国5県への誘客活動を行ってまいります。原価高騰・人手不足、運送の制度改定の対応など課題はあります。また自然災害の脅威もですが、この3年間蓄えた生きる力で前進するのみです。

G7で注目された広島、テレビドラマの舞台の島根、ニューヨークタイムズで今年行くべき場所に全世界で3番目に選ばれた山口、新型やくも号の登場で期待できる鳥取、秋には森の芸術祭が岡山で行われるなど、うれしくも注目される話題も多くあります。また高付加価値を求める趣向に対応できるように変身を遂げた施設も多く、多言語、バリアフリーなど多様性に対応できる工夫をされた施設もあります。

今年度の取り組みとしては大きく2点。1点目、社員との密な情報共有のため、商談会や現地研修などで、リアルな中国を共有します。2点目はブロックでの活動、支部・部会・県を超えて、国内・海外からの誘客活動を計画しています。EXPO開催の来年への準備年として、未来につなげられる連携を念頭に・共創してまいります。

最後になりましたが、KNT－CTパートナーズ会会員の皆さまとKNT－CTホールディングスグループ各社の皆さまのご繁栄をご祈念申し上げますとともに、中国連合会への一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

九州連合会
上期キャンペーン支える
宮原 知司（ホテル龍登園）

KNT－CTパートナーズ会会員の皆さま、本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

「能登半島地震」で亡くなられた方に心からお悔やみを申し上げます。また、被害を受けられている皆さま、多くの観光関係の皆さまにお見舞いを申し上げます。

パートナーズ会も今年で発足してから5年を迎えますが、そのうち約3年間がコロナ禍となります。コロナ禍では、GoTOトラベルや各県の県民割等のサポートがございましたが、昨年度よりサポートは、ほぼ終了いたしました。今年度は、パートナーズ会と会社が協力して生き残りを懸けて取り組んでまいります。

昨年度の九州を振り返りますと、5月の新型コロナ感染症の5類移行以降、韓国・台湾を中心とする東南アジアの方のインバウンドが福岡県を中心に爆増しております。

その一方で、人手不足、原材料価格の高騰などにより、宿泊・観光施設および運輸機関の運営環境が非常に厳しくなってきています。昨年度の九州全体の宿泊券・船車券・観光券の3券種の数値は、対前年106%と増加の報告を受けていますが、2019年比では、約80%とまだまだ厳しい状況が続いております。

さて今年度の九州連合会事業ですが、KNT－CTホールディングスの全社キャンペーンが4～9月の上期に九州・沖縄で開催され、このキャンペーンをしっかりと支えていきます。今回は、教育旅行・一般団体・スポーツ・訪日部門も加えた文字通り全社挙げてのキャンペーンとなります。

昨年度より近畿日本ツーリスト・クラブツーリズムの各部門とパートナーズ会の各県の情報連絡委員長が月1回のペースで会議を重ねてスタートしております。また、「近畿日本ツーリスト・クラブツーリズムの社員」との商談会を九州内と東京にて2回実施する予定です。また、九州域内の取り組みとして「九州旅丸会」との連携を強化して域内需要の掘り起こしを行います。

最後になりますが、今後とも皆さまのご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

沖縄連合会
研修やイベントを充実
宮里 一郎（沖縄ホテル）

沖縄連合会の総会

全国のKNT－CTパートナーズ会会員の皆さま、本年度もよろしくお願いいたします。

はじめに、2023年（令和5年）の沖縄入域観光客数は823万人（19年比81%）と、コロナ禍による行動制限がなくなり、2年連続で増加しました。また、国内客ではコロナ前の2019年（令和元年）を上回り過去最多となりました。

「那覇大綱引」など催事が各地で通常通り開催されたほか、「FIBAバスケットボールワールドカップ」などの大型イベントも増加の要因となりました。

次に、KNT－CTパートナーズ会沖縄連合会の取り組みをご説明いたします。2022年より開始した、沖縄誘客の基本である「沖縄を知っていただく」「沖縄に来ていただく」について、KNT－CTホールディングスグループ社員に周知を行った結果、2年間で約200人の社員の方々に研修参加をしていただきました。評判も上々で、本年度についてもKNT－CTホールディングスとの協力体制をさらに密にすることで、研修制度を充実していきます。

また、イベントの実施についても成果がありました。沖縄県の事業と連動した、「首里城」を舞台とした夜間イベントの開催です。昨年は「御城（うぐしく）の夕べ～彩の首里城と琉球芸能～」と銘打って展開し、約1100人のお客さまにご鑑賞いただきました。特に城壁に映し出されたプロジェクションマッピングや平田太一氏総合演出による琉球芸能は、参加者満足度約90%の結果を得ることができました。

今年度もさらに内容の見直しを行いブラッシュアップさせ、このイベントをホールディングスの「冬の柱」に育てつつ、2026年の修復完成に花を添えるべくまい進してまいります。

以上の取り組みを中心に、KNT－CTホールディングスグループ各社とKNT－CTパートナーズ会沖縄連合会会員の連携がより一層強まり、結果沖縄誘客につながることを念頭に取り組んでまいります。

皆さまのご協力よろしくお願いいたします。

四国連合会
四国で元気になる旅を！
大木 正治（ホテル葛城）

KNT－CTパートナーズ会の皆さま、本年度もどうぞよろしくお願いいたします。また能登半島地震で被害をお受けになった皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

3年にわたる苦難から、ようやくにぎやかな日々が戻ってまいりました。四国連合会では、コロナに負けないという姿勢で、活動を続けてまいりました。

刻々と変化する状況を共有発信するため、商談会を2回開催し、各県の情報連絡委員の趣向を凝らした演出もあり100人を超える盛況ぶりでした。

インバウンドの勉強会も開催。会社組織改編に伴い、各拠点に四国へのお誘客キャラバンも行ってまいりました。

またクラブツーリズムには各県のイベントを通じて、多数のツアーを造成送客いただきました。

あらためて、旅は人・土地を五感で体得し心を豊かにするものということを感じた1年でした。会員・会社の皆々さまにあらためて御礼申し上げます。

2024年は、従来どおりの活動に加え、新たな取り組みとして、ホールディングスの推進するアドベンチャーツーリズムにも挑戦します。

四国未来創造委員会の中で、四国のキラーコンテンツであるお遍路を入れて、四国で元気になる旅の素材の磨き上げをしてまいりたいと存じます。今年は来年の大阪万博開催の準備年、国内外のお客さまに四国を選んでいただけるよう取り組みます。

ホットニュースとしては、道後温泉本館が7月11日に5年半ぶり念願の全館営業になります。

高知は「どっぷり高知旅キャンペーン」が始動。今年の干支（えと）・辰（たつ）と関係の深い香川も注目、四国の万博からのゲートウエイの徳島も活発にインバウンド取り組みに動いています。

四国4県各地の最新の魅力を、まずは会員・社員の皆さまと共有し、商品造成・営業活動へ直結できるよう商談会も開催します。今年の活動を通じ、来年へそして未来へ元気に力強くつなげてまいります。

KNT－CTパートナーズ会会員の皆さまとKNT－CTホールディングスグループ各社の皆さまのご繁栄をご祈念申し上げますとともに、四国連合会への一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

観光業を側面から支え、皆様にとって信頼できるパートナーでありたい

商事事業
「ベスト」な選択、「新しい」スタイルのお手伝い
全国10ヶ所の営業所を設け、直接施設へ伺い
今必要なものや困っていることなどをヒアリングし、
実際に利用される方の満足度を高める施策をご提案いたします。

建装・FFE事業
「匠」とともに創る こだわりの宿のご提案
建装・FFE事業部では、
旅館・ホテルなどのリニューアルや
新規オープン時に必要な備品、
家具から内装デザインまで
宿泊客様に感動していただける
空間づくりのサポートをいたします。

EC事業
旅のように人を笑顔にする
「とっておき」の商品が満載

EC事業部では、ECショップ
「近畿日本ツーリストe－MARKET」を
運営しております。全国各地のグルメなど
ギフトにも最適な旬の"いいもの"を
取り揃えています。

保険事業
お客様の事業活動に
「安心」をお届けします
旅館ホテル・KNT－CTホールディングスグループ従業員・KNT－CTホールディングス関連会社など、全てのお客様の"あんしんのパートナー"となり、多様なニーズに最適な保険をコンサルティングする事業を展開しています。

近畿日本ツーリスト
株式会社近畿日本ツーリスト商事
〒101-0024
東京都千代田区神田和泉町1-13　住友商事神田和泉町ビル14階
TEL03-6777-9660 FAX:03-6856-6680

営業所一覧
札幌商事営業所 …… 011-241-9001
仙台商事営業所 …… 022-263-7915
東京商事営業所 …… 03-6777-9661
熱海商事営業所 …… 0557-85-5327
北関東信越商事営業所 …… 025-245-5252
名古屋商事営業所 …… 052-561-8743
金沢商事営業所 …… 076-224-6624
大阪商事営業所 …… 06-6649-0521
広島商事営業所 …… 082-536-3081
福岡商事営業所 …… 092-282-5307
保険センター …… 03-6777-9662
EC事業部 …… 03-6777-9665
建装・FFE事業部 …… 03-6777-9664
㈱近畿日本ツーリスト沖縄 …… 098-864-1166